

土門拳記念館 展示情報 2022

2022年1月4日(水)～4月3日(日) 休館日：月曜日 ※3月まで。祝日の場合は開館し、翌火曜休館

新春おとし玉くじ 土門拳オリジナルグッズ等が当たります。1月4日(水)・5日(木)2日間限定 / 各日先着10名

主要展示室

傑作選 – ポストカード・コレクション –

モノクロ / カラー 約80点

美術館のおみやげの定番といえば、ポストカード。当館ミュージアムショップで販売されているポストカードのラインナップも、開館から約40年の間に着々と研ぎ澄まされてきました。本展は、そんな“ポストカードになった土門拳作品”を中心に構成される展覧会です。古寺巡礼からドキュメンタリー、風景写真まで、土門のマスターピースたちをジャンルの垣根を超えてご覧いただけます。ぜひあなたのお手元に置いておきたくなる1枚に出会ってください。

企画展示室 I

ドモン異色作品？

モノクロ 約40点

「写真の鬼」「リアリズムの巨匠」…昭和を代表する写真家としての、重厚なイメージが根強い土門拳。一方で戦後まもない頃に発表された、女性の身体をモチーフにした幻想的な組写真《肉体に関する八章》などからは、そういった印象とは少し異なる作家像が垣間見えます。しかし土門が文学から美術まで広範な芸術分野に造詣が深かったことや、写真というメディアを貪欲に探究していたことを考えると、こうした作品群もまた彼の本質の一部だといえるかもしれません。「ポストカード・コレクション」とは好対照となる本展で、土門拳という写真家の姿をより多角的に感じていただければ幸いです。国内撮影がほとんどだった土門にとっては珍しい、中国で撮影された作品群なども出品いたします。

企画展示室 II

庭の風景

モノクロ / カラー 約30点

『古寺巡礼』シリーズ、そして草月流の創始者・勅使河原蒼風のいけばなを記録した写真集『私の花』に掲載された作品群から、「庭」に関連する写真を選び抜いた展覧会です。モノクロとカラーを対比する構成で、土門が描写した庭の姿をお楽しみください。企画展示室 II には、草月流三代目家元・勅使河原宏による石庭《流れ》が隣接しており、冬季には美しい雪化粧の庭園をご覧いただける日もあります。

※作品画像提供ご希望の方は domonken@taupe.plala.or.jp までご連絡ください。

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地(飯森山公園内)

TEL: 0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>

ド
モ
ン
異
色
作
品
?



2022年1月4日（火）→ 4月3日（日）

3展同時開催：「傑作選ーポストカード・コレクションー」「ドモン異色作品?」「庭の風景」

月曜休館（祝日の場合は開館し、翌火曜休館） / 開館時間：AM9:00～PM5:00（入館はPM4:30まで）
入館料：一般700円 / 高校生350円 / 中学生以下無料 *20名以上は団体料金適用。特典つきの年間券も随時受付中。

会期中のイベント

- ▶写真展「わたしのこの一枚」：1月4日（火）→23日（日） *最終日はPM3:00まで。
- ▶新春お年玉くじ：1月8日（土）→10日（月・祝） *各日先着10名様へ土門拳記念館オリジナルグッズが当たります。
- ▶朗読イベント「『宝の日』土門拳さんの記念館で吉野弘さんの詩をよむ」：2月12日（土）14:00～

*各イベントの詳細については土門拳記念館ウェブサイトをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

土門拳記念館
Ken Domon Museum of Photography

〒998-0055 山形県酒田市飯森山2-13（飯森山公園内）
TEL：0234-31-0028

（写真：土門拳《皮膚に関する八章 第一章 撫感》 / 1948年）

